

議会改革について意見交換

群馬県大泉町議会と意見交換

6月21日(木) 群馬県の大泉町議会改革特別委員会(引間サチ子委員長)が来町されました。

大泉町は人口4万1千人のうち6千人ほどがブラジルなどの海外出身者が居住する町であり、住民サービスやまちづくりに関する重要な認識から改革の進め方について、鹿追町議会を訪れたとのことでした。

意見交換では、
1. まちなか会議(議会報告会)の住民への周知方法
2. 住民から出された意見や質問はどのようにフォローしているのか。
3. 第三者審議会を設置した背景。など色々な角度から

- 山形県尾花沢市議会 7人 (7/3:バイオガスプラント)
- 滋賀県草津市議会 5人 (7/12:花のまちづくり)
- 名寄市議会 10人 (7/18:バイオガスプラント)
- 標茶町議会 5人 (8/9:バイオガスプラント)
- 群馬県大泉町議会 19人 (6/21:議会基本条例・議会改革)



群馬県大泉町議会視察研修来町

更なる町づくりに期待しています。



群馬県大泉町議会 引間サチ子議員

鹿追町のみなさんこんにちは。
6月21日、議会を視察研修させていただきました。町民の意見を充分に取り入れ、協議を重ねながらスピード感をもってまちづくりをしている議会、大変勉強になりました。広大な原野に馬鈴薯の花がわいく咲き、北キツネが道路に現れた時の感動は忘れられません。また、昼食の蕎麦は大変美味でした。町民と町議会が一体となり、更なる町づくりに期待しております。



安藤会長より答申

第三者審議会答申
インターネット配
信は早期に整備を。

7月2日、町議会議員定数・報酬及び方等審議会(第三者審議会)の安藤会長から埴淵議長に「インターネット配信」に対する答申がされました。

答申では、本会議のインターネット配信が住民の情報収集と利用に寄与すること、議員の意識向上に繋がり、最小限の経費で効果が得られるよう、早期の整備を図るべきとの判断がありました。議会では、この結果をふまえ9月定例会からの配信を予定しています。

まちなか議

住民と議会を結ぶ

明日の鹿追農業を考える。

JA鹿追町常勤役員と懇談

産業厚生常任委員会のお呼ばれ委員会が、JA鹿追町の第三会議室において6月30日に開催されました。

冒頭、佐藤組合長理事より「近年にない厳しい酪農を取り巻く環境があるが、出来秋に向かい作物の増産をはかっていきたい。農協、町にしかできないことがあ

る。議会とも気持ちをつづにして、町の発展のため意見交換をしたい」とあいさつがありました。

次に、JAより本年策定された第9次の農業振興計画について説明を受けました。農業振興計画は、5年ごとに作成されており、メインタイトルを「JAへの集と耕畜連携による鹿追型農業の創生」と題し最終年度の平成28年には、総生産目標を1億9000万5000円とするものです。

目標達成のために畑作部門においては、比較的高収益が望める馬鈴薯の面積拡大のために町と連携したオフセットハーベスターの導入、酪農部門においては農協主導でTMRセンター(牛のための飼料を混合する施設)を作り良質な混合飼料により生乳生産量を上げるなどの手法について示されました。



旧西原環境の施設

その後、意見交換に移りJAから町道北5線の整備について、農家従業員1百67名と季節雇用者2百73名が働いており、JAでも今年8戸が入居できる住宅を建築するが住宅の確保に苦慮していることについて説明を受けました。また、町が取得をした旧西原環境の施設を農家繁忙期に、派遣労働者の宿泊施設にできないかとの要望を受けました。



JA鹿追町常勤役員との懇談

農業が鹿追町の基幹産業であり、鹿追町農業の発展無くして町の発展が無いことは皆が認識しているところであり、産業厚生常任委

員会としても現状を充分認識し、委員会の活動にあたりたいと思います。

